

大阪長野道院だより



年頭のごあいさつ

ウクライナでの戦争が3年目となり、終わりの見えない状況になる中、昨年はイスラエルで新たに戦争が勃発し、世界のあちこちで起こる争いの中で、多くの命が失われています。こうした戦争の影響は、私たちの暮らしにも及び、社会情勢の不安や物価高騰を招き、先行き不透明な状況をもたらしています。自殺者の数も先進諸国では最も高くなり深刻な状況となっています。

このような状況の中、年始に能登半島地震が起こりました。このたよりに書いている今も、がれきの下で苦しんでいる人々が100人以上いると聞きます。さらに2日にはこの被災地に向けて救援物資を運ぼうとしていた海上保安庁の航空機と旅客機が激突し、海保隊員5名の命が失われてしまいました。しかし、その一方で、この大事故で大破した旅客機に乗っていた乗客379名の命は全員守られ、世界では「奇跡の救出」と称賛されています。乗客の命を救ったのは客室乗務員の、冷静な判断と行動であったといいます。

多くの人の命が失われる現在、私たちはどう行動すれば平和な世の中や人の命を守れるのかと常に考え、冷静に状況を見つめて行動がとれる「平常心」を養わなければならないと、強く感じました。

私たちは今年も少林寺拳法の修練を通して、いざという時に平常心で対処できる、自信と勇気と行動力を身につけるべく、精進していきたいと思えます。



1・2月の主な行事予定

1月21日(日)	昇級考試 新春法会	13:00~14:30 14:30~16:00	千代田道場 //	※一般拳士のみ参加です
1月28日(日)	昇段考試・武専	8:30~17:00	吹田市「洗心館」	
2月23日(金・祝)	考試員・審判員講習会	9:00~16:30	吹田市「洗心館」	※四段以上の拳士

楽しく熱気あふれる「稽古納め」になりました

12月23日(土)に行われた「稽古納め」には、多くの拳士が参加してくれました。3チームに分かれて、にぎやかにそして楽しく、鬼ごっこやリレーや長縄で盛り上がりました。朝から非常に寒い日でしたが、最後の種目となる団体演武が終わるころには、体がポカポカと温かくなるくらいに白熱したチーム戦となりました。年齢も経験年数もバラバラのチームでしたが、みんな協力し合って一生懸命競技に向かう姿は本当に素晴らしかったです。団体演武の作戦を立てる時も、みんなで円になって顔を突き合わせて話し合っている姿にチームワークの良さを見ました。競技なので順位をつけさせてもらいましたが、どのチームも立派な参加姿勢と行動で、甲乙つけがたい素晴らしい結果でした。



表彰拳士の紹介

※ ()内は年間の参加日数です



- 功労賞 (2名) 杉本眞一 (95) 大年 進 (94)
- 精勤賞 (5名) 中西朋美 (90) 溝根宗太郎 (87)
- 中西春陽 (85) 林田憲明 (85) 砂原采花 (80)
- 努力賞 (4名) 砂原彩奈 (79) 砂原美海 (77) 安藤 晴 (73) 林田崇佑 (70)